

迎えて



津島市長
日比 一昭

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、市制施行70周年を迎え、また、「尾張津島天王祭の車楽舟行事」が、ユネスコ無形文化遺産に登録された初めての年として、本市の魅力が市内外に大いに発信することができました。深く感謝申し上げます。

本市では、5つの「つしま成長戦略」を市政の重点項目と位置付け、これを着実に実行し、地域の活力を向上させてまいりたいと考えております。

「子ども・子育て応援都市、つしま」については、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の提供をワンストップで行う子育て世代包括支援センター事業など、子育て支援のさらなる充実を図り、安心して子どもを産み育て、未来を担う子どもたちが健やかに成長できるまちを目指しています。

「防災・減災のモデル都市、つしま」では、「自助」、「共助」、「公助」の連携が何よりも重要で、昨年より市内3か所に耐震性貯水槽を順次設置するなど避難所への飲料水確保を確実に、防災減災事業を着実に進めています。

「地域の特性を活かした交流都市、つしま」については、市民の皆様と一緒に津島市に活力を与える事業を展開していきたいと考えております。「町家泊お寺体験・まち歩きツアー」など、津島のにぎわいを創出する多くの事業や、「みんパタ大収穫祭・食セミナー」など地域の食文化を再生する事業を、国の地方創生推進交付金を活用しながら積極的に進めています。

「地域経済が活性化される発展都市、つしま」では、企業誘致のさらなる推進を図るため、進出企業への優遇制度を設け、市内約21haの区域指定を実施し、現在3つの企業の進出が進んでいます。

「いつまでも健康で暮らす都市、つしま」では、市民の皆様が健康づくりに一層の関心を持ち、まち全体の活性化を図ってまいります。そのためには、市民病院の病院経営の健全化が最重要課題であり、良質な医療の提供と、持続可能な運営体制づくりを進めてまいります。また、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供される本市の特性に応じた地域包括ケアシステムの構築を医師会、歯科医師会・薬剤師会など関係者と推進してまいります。

今後も市政運営にご理解とご協力を賜り、本年が、市民の皆様にとりまして、健康で幸せな年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

平成三十年元旦



愛知県知事
大村 秀章

あけましておめでとうございます。新たな年が、県民の皆様方にとりまして、素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、愛知総合工科高等学校専攻科の公設民営化や、遠隔型自動運転システムの実証実験、「あいち航空ミュージアム」のオープンなど、全国初となる取組、愛知ならではの取組に果敢にチャレンジし、大きな成果を上げるとともに、アメリカのケンタッキー州やインドネシアの州、ベルギーの3地域、インドネシアの経済調整担当大臣府とそれぞれ相互協力等の覚書を締結し、海外とのパイプを一層強固にした1年でした。

また、世界に誇る日本のオリジナリティあるコンテンツであるスタジオジブリ作品をテーマとした「ジブリパーク構想」の具体化に向け、大きな一歩を踏み出した年もありました。

今年も、様々な取組を積極的に進め、愛知の総合力に更なる厚みを加えていくとともに、未来へと続く取組を、愛知の発展の種として、しっかりと芽吹かせ、着実に育んでいく1年にしてまいります。

そのためには、2027年度のリニア開業に向けた鉄道・道路ネットワークの強化など、中京大都市圏づくりを着実に前進させるとともに、次世代自動車、航空宇宙・ロボット・AIなどの次世代産業の育成・振興、企業立地の促進、中小企業支援、農林水産業の国際競争力の強化、愛知の魅力の発信と観光振興、来年秋開業を目指す国際展示場の整備などに取り組み、愛知の産業競争力を一層強化してまいります。

また、ジブリパークについては、愛・地球博記念公園での2020年代初頭の開業を目指し、夢とファンタジーあふれるジブリの世界を再現したオンリーワンの施設を創り上げていけるよう、しっかりと取組を進めてまいります。

そして、こうした取組以外にも、認知症にやさしいまちづくりを目指す「オレンジタウン構想」や子どもの貧困対策の具体的な取組の推進、スポーツ・文化芸術の振興、教育・人づくり、地震津波対策や交通安全対策、「環境首都あいち」の取組、東三河地域の振興などに力を注ぎ、「日本一住みやすい愛知」づくりを進めてまいります。

今年も、「日本一元気な愛知」「すべての人が輝く愛知」の実現を目指し、県民の皆様は、笑顔で元気に過ごしたいだけのように全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成三十年元旦

新春を



津島市議会議長
垣見 信夫

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、津島市制70周年を記念し、4月22日の記念式典を始め、記念事業が12月末まで市内各所で実施されました。また、冠等使用事業として8月7日に開催されました「平成29年度津島市子ども議会」は、国において主権者教育が推進される中、津島市として、未来を担う子どもたちに、積極的な関わりが果たされたものと感じております。

衆議院議員総選挙後には、第4次安倍内閣が発足し、「人づくり革命」実現に向け、引き続き、少子高齢化対策などの政策が一層推進されています。津島市が人口減少と超高齢社会に対応していくためには、持続可能な財政運営が求められています。その鍵は、市民病院の健全経営にあります。

市議会におきましても、平成27年第2回定例会において、市民病院の経営について調査・研究することを目的に特別委員会を設置し、市民病院が地域の急性期病院として安定的かつ効率的な経営をすすめるよう、現状の把握、調査、問題提起などを、課題解決に取り組んでいます。

昨年の7月19日、8月3日には、愛知県総務部市町村課長を招き、「公立病院の経営改革と津島市民病院について」をテーマとする講演会および意見交換会を開催しました。さまざまな分析結果による講演により、市民病院の果たすべき役割および克服すべき経営課題を改めて認識いたしました。

津島市の財政健全化は、地域の財産である市民病院の健全な経営なくしてはあり得ません。今後においても、市民病院の健全化に向けて、市民病院・市議会が三位一体となって取り組んでまいります。

市議会では、議会改革の一環として、平成29年度交付の政務活動費から、収支報告書に記載された項目を一覧表にして、ホームページに公開いたします。

また、議場のバリアフリー化工事に続き、昨年2月に委員会室の改修を行いました。委員会室のマイク・スピーカーを新たに整備し、音響設備の向上を図りました。ぜひ、傍聴にお出かけください。

今後、より開かれた議会を目指して、立ち止まらず、改革を続けてまいります。

本年が、市民の皆様にとりまして、健康で幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

平成三十年元旦



愛知県議会議長
中野 治美

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

愛知県は、国際戦略特区の指定を受けて、航空宇宙産業の育成・振興に取り組んでいます。これを受け、昨年豊山町に航空機をテーマとした「あいち航空ミュージアム」がオープンしました。学校教育、社会教育、人材育成、産業観光等の場として活用してまいります。

一方で、毎年のように台風や集中豪雨による被害が発生しています。昨年は7月に九州北部や秋田県において記録的な大雨に見舞われ、河川の氾濫や土砂災害による甚大な被害が発生しました。私たちの住む地域は我が国最大の海抜ゼロメートル以下の地域であり、ポンプによる強制排水が必要となつていきます。日光川流域の防災の要である日光川水閘門は、かねてより改築を進めておりましたが、今年の3月に完成する予定です。皆様の安心安全のため、更に減災防災対策を推進してまいります。

また、2027年にリニア中央新幹線の東京(品川)―名古屋間が開業する予定です。リニア開業後は、東京―名古屋間が40分となり、首都圏・東京圏が一体となった5千万人の大交流圏が実現します。今、愛知の舵をどのように取るのが、愛知の将来発展に向けて極めて重要です。リニアインパクトを最大限生かし、国や自治体、経済界等とも連携し、魅力ある地域づくりを進めてまいります。

そして、子どもも若者も、年齢を重ねても、男女や障がいの有無を問わず、全ての人がそれぞれの場で輝き活躍していく愛知を目指して取り組んでまいります。

一昨年、天皇陛下は生前退位の意向を表明されました。政府は関連法案の整備等を行い、今年「平成」に次ぐ元号が発表される予定です。明治(M)大正(T)昭和(S)平成(H)、さて次は…。本年が皆様にとりまして素晴らしい年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

平成三十年元旦